

# ことぶき ゆめ会議ニュース

Vol.8

2011 年度 推進キャッチフレーズ / ことぶきスマイルネット

発行：ことぶきゆめ会議

3月の  
社会資源ツアーは  
不老町地域ケア  
プラザ



ことぶきゆめ会議  
2年目！  
意見募集！！



## 2月の社会資源ツアー報告



高齢者ふれあいホーム 木楽な家



## 第五港館（簡易宿泊所）



## 寿町に仕事でかかわった横浜市職員からのお話

2月の「ことぶきやめ会議」では、寿町に仕事でかかわったことのある中土木事務所の野渡さんと中区保護課の安村さんの二人から体験談を交えたお話を聴きました。その一部を紹介します。

### 中土木事務所 野渡さんのお話

- ☆ 行政で40年仕事をしてきた、そのうち5年間寿地区とかかわった。
- ☆ 寿の人と仕事でかかわって感じたことは、自分を守るために攻撃的になることがあるかもしれないということ。しかし、打ち解けるとこんなに楽しい人はいないと感じた。
- ☆ 平成19年から20年にかけて、地域、行政（中区保護課、中土木事務所）、警察が協力した結果、中村川沿いの小屋がけがなくなった。とても大きな成果であると思っているが、それだけではなく不法投棄への取組が現在も続いている、地域の努力に助けられている。
- ☆ これからは、寿地区の道路が老朽化しているので、整備が行われる予定。きれいな道路が寿にできればいいと思っている。



### 中区保護課 安村さんのお話

- ☆ 事務職として入庁したが、途中で社会福祉職に変わった。生活保護や福祉施設職員の仕事を経験し、現在は中区保護課で寿地区の担当をしている。
- ☆ 寿地区の人は「フランク」「日雇労働者気質」があるというのが近いかもしれない。自分の父も職人だったので、寿の「気質」に馴染みやすかったところがある。
- ☆ 他地区との「違い」を考えたが、内面の葛藤は違いがないと思う。
- ☆ 寿地区では、介護事業者の人たちの努力で生活が支えられている。感謝しなくてはいけないと思う。寿地区は、福祉が充実している。
- ☆ 寿地区の日雇労働者が減ってきていて、昔気質の人が少なくなっている。

